



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3023 URL <http://www.rasaco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大岡 隆 (TEL) 03(3668)8231  
 経営企画室長  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	20,513	△0.5	971	9.2	1,076	11.5	740	8.1
29年3月期第3四半期	20,610	△5.0	889	△14.9	965	△11.6	684	△4.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 921百万円(21.4%) 29年3月期第3四半期 758百万円(11.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	67.22	—
29年3月期第3四半期	60.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	29,143	14,753	50.6
29年3月期	27,751	12,963	46.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 14,753百万円 29年3月期 12,963百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.50	—	16.50	24.00
30年3月期	—	15.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,200	0.9	1,800	23.3	1,950	18.9	1,362	1.0	125.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	12,700,000株	29年3月期	12,400,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	426,345株	29年3月期	1,526,306株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	11,013,667株	29年3月期3Q	11,357,324株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. 参考情報	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、海外の政情不安が続くなかでも、世界経済は安定した動きが維持されたことから、国内の企業収益は改善し、生産や設備投資の持ち直しが続くなど、景気は緩やかな回復基調が続いている状況となりました。

このような経済環境のもとで当社グループは、営業活動の積極的な展開と経営効率の向上を図るように努めました結果、売上高は205億13百万円となり、前年同四半期と比べ96百万円(△0.5%)の減収となりました。

営業利益は販売費及び一般管理費の増加はあったものの、売上総利益の増加により9億71百万円となり、前年同四半期と比べ81百万円(9.2%)の増益となりました。

経常利益は営業利益の増益に加え、営業外収支でも改善したことにより10億76百万円となり、前年同四半期と比べ1億11百万円(11.5%)の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は7億40百万円となり、前年同四半期と比べ55百万円(8.1%)の増益となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、次のとおりです。

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの経営成績を適切に反映させるため、全社費用の配分方法を変更しております。このため、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後の配分方法により組み替えた数値で比較しております。なお、対象の報告セグメントは「資源・金属素材関連」「産機・建機関連」「環境設備関連」であります。

資源・金属素材関連では、金属シリコンは中国の状況が変化した影響が続き、国内販売は一段と厳しく数量及び販売金額とも減少したものの、輸入原料がこれをカバーし、また、ジルコンサンドは品不足の状態が続き、価格が安定したことなどから、関連部門の売上高は67億83百万円となり、前年同四半期と比べ1億48百万円(2.2%)の増収となりました。セグメント営業利益は3億2百万円となり、前年同四半期と比べ4億18百万円(前年同四半期は1億15百万円の損失)の増益となりました。

産機・建機関連では、官庁向けポンプ及び建機商品が低迷したものの、民間企業向け主力ポンプ等の販売が安定推移したことから、関連部門の売上高は52億66百万円となり、前年同四半期と比べ3億42百万円(7.0%)の増収となりました。セグメント営業利益は各商品とも競争が一段と厳しく3億6百万円となり、前年同四半期と比べ14百万円(△4.7%)の減益となりました。

環境設備関連では、環境商品及び水砕設備商品とも低調であったことから、関連部門の売上高は9億39百万円となり、前年同四半期と比べ2億29百万円(△19.6%)の減収となりました。セグメント営業利益は57百万円となり、前年同四半期と比べ1億2百万円(△64.0%)の減益となりました。

プラント・設備工事関連では、前期は12月完工の工事が多く、今期は第4四半期に工期完了が集中することから、関連部門の売上高は23億31百万円となり、前年同四半期と比べ4億90百万円(△17.4%)の減収となりました。セグメント営業利益は57百万円となり、前年同四半期と比べ2億77百万円(△83.0%)の減益となりました。

化成品関連では、原油価格が落ち着き、自動車、電線向けの商品が好調に推移したことから、関連部門の売上高は50億80百万円となり、前年同四半期と比べ1億52百万円(3.1%)の増収となりました。セグメント営業利益は1億29百万円となり、前年同四半期と比べ30百万円(30.9%)の増益となりました。

不動産賃貸関連では、賃貸物件の買換による収入増加から、関連部門の売上高は2億49百万円となり、前年同四半期と比べ22百万円(9.9%)の増収となりました。セグメント営業利益は1億17百万円となり、前年同四半期と比べ29百万円(33.0%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は291億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億92百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は169億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億57百万円の増加となりました。

これは主に、現金及び預金で14億21百万円の増加等によるものです。

固定資産は121億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億35百万円の増加となりました。

これは主に、投資有価証券で3億26百万円の増加等によるものです。

(負債)

流動負債は91億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億13百万円の増加となりました。

これは主に、未払法人税等で2億78百万円の減少等がありましたが、短期借入金で8億20百万円の増加等によるものです。

固定負債は52億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億12百万円の減少となりました。

これは主に、長期借入金で9億11百万円の減少等によるものです。

(純資産)

純資産は147億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億90百万円の増加となりました。

これは主に、資本剰余金で6億42百万円、自己株式の処分による4億50百万円、利益剰余金で3億86百万円の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年9月15日に公表した「業績予想及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,768	4,190
受取手形及び売掛金	8,415	8,274
完成工事未収入金	1,090	480
商品及び製品	2,348	2,064
未成工事支出金	1,017	1,511
原材料及び貯蔵品	8	9
繰延税金資産	171	171
その他	105	277
貸倒引当金	△8	△4
流動資産合計	15,917	16,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,526	4,555
減価償却累計額	△2,337	△2,431
建物及び構築物（純額）	2,188	2,124
機械装置及び運搬具	423	425
減価償却累計額	△304	△329
機械装置及び運搬具（純額）	119	96
土地	5,933	5,933
その他	1,585	1,628
減価償却累計額	△1,528	△1,541
その他（純額）	57	86
有形固定資産合計	8,298	8,241
無形固定資産		
ソフトウェア	49	33
その他	0	1
無形固定資産合計	50	35
投資その他の資産		
投資有価証券	2,658	2,985
繰延税金資産	2	—
保険積立金	636	728
その他	199	187
貸倒引当金	△13	△9
投資その他の資産合計	3,484	3,892
固定資産合計	11,834	12,169
資産合計	27,751	29,143

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,166	4,065
工事未払金	257	300
短期借入金	1,400	2,220
1年内返済予定の長期借入金	1,345	1,275
1年内償還予定の社債	169	30
未払法人税等	468	190
賞与引当金	277	130
その他	685	971
流動負債合計	8,770	9,184
固定負債		
長期借入金	5,146	4,235
繰延税金負債	477	556
退職給付に係る負債	206	150
役員株式給付引当金	—	36
その他	186	226
固定負債合計	6,017	5,205
負債合計	14,788	14,389
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,854	1,985
資本剰余金	1,644	2,286
利益剰余金	9,897	10,283
自己株式	△650	△200
株主資本合計	12,744	14,354
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	218	398
繰延ヘッジ損益	△0	0
その他の包括利益累計額合計	218	399
純資産合計	12,963	14,753
負債純資産合計	27,751	29,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	20,610	20,513
売上原価	16,838	16,591
売上総利益	3,772	3,922
販売費及び一般管理費	2,882	2,950
営業利益	889	971
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	23	23
受取家賃	33	32
持分法による投資利益	64	75
その他	13	21
営業外収益合計	134	153
営業外費用		
支払利息	37	30
社債利息	4	0
その他	17	16
営業外費用合計	58	48
経常利益	965	1,076
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	965	1,076
法人税等	280	336
四半期純利益	684	740
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	684	740

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	684	740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73	179
繰延ヘッジ損益	0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	74	180
四半期包括利益	758	921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	758	921
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年11月16日開催の取締役会において、国内における一般募集として、新株式300,000株の発行及び自己株式1,100,000株の処分を決議し、平成29年12月5日に払込が完了しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金が131百万円、資本剰余金が642百万円増加、自己株式が450百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,985百万円、資本剰余金が2,286百万円、自己株式が200百万円となっております。

なお、第三者割当増資による新株式の発行については、重要な後発事象に記載しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

主要なたな卸資産について、従来、先入先出法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より、移動平均法に変更しております。この変更は、資源価格の変動に伴う仕入価格の変動の影響を平準化することにより、たな卸資産の評価及び損益計算を適切に行うことを目的にしたものであります。なお、この変更による影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
外部顧客への売上高	6,634	4,922	1,168	2,821	4,928	134	20,610
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	—	—	92	92
計	6,634	4,923	1,168	2,821	4,928	226	20,703
セグメント利益 又は損失(△)	△115	321	160	335	98	88	889

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	889
セグメント間取引消去	△0
その他	0
四半期連結損益計算書の営業利益	889

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
外部顧客への売上高	6,783	5,223	939	2,328	5,080	158	20,513
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	43	—	2	—	91	136
計	6,783	5,266	939	2,331	5,080	249	20,650
セグメント利益	302	306	57	57	129	117	971

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	971
セグメント間取引消去	△0
その他	0
四半期連結損益計算書の営業利益	971

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、全社費用の配分方法を変更し、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の全社費用の配分方法に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(第三者割当による新株式の発行 オーバーアロットメントの売出に係る発行)

当社は、平成29年11月16日開催の取締役会において、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社が行ったオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を次のとおり決議し、平成30年1月5日に払込が完了しております。

- |                  |   |
|------------------|---|
| (1) 発行する株式の種類及び数 | 当社普通株式210,000株  |
| (2) 割当価格         | 1株につき874.2円   |
| (3) 資本組入額        | 1株につき437.1円   |
| (4) 割当価格の総額      | 183,582,000円  |
| (5) 資本組入額の総額     | 91,791,000円   |
| (6) 払込期日         | 平成30年1月5日   |
| (7) 割当先          | 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社   |
| (8) 資金の使途        | 勿来発電所及び広野発電所向けの水砕スラグ製造設備の仕入資金、連結子会社である旭テック株式会社の第一工場における大型クレーン導入等の設備投資資金、同じく連結子会社であるラサ・リアルエステート株式会社における賃貸用不動産購入資金に充当する予定であります。 |

### 3. 参考情報

#### 個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

平成30年3月期第3四半期の個別業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	12,988	2.1	667	81.8	719	79.3	483	82.9
29年3月期第3四半期	12,726	△11.1	366	△41.7	401	△39.2	264	△39.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	43.57	—
29年3月期第3四半期	23.12	—

#### (2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	18,563	12,454	67.1
29年3月期	17,586	10,938	62.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 12,454百万円 29年3月期 10,938百万円